

近畿地方整備局 福井河川国道事務所

配布
日時

平成23年10月3日
14時00分

資料配布

件名

アザラシ発見箇所周辺での今後の工事施工
－専門家の意見を参考に工事再開－

概要

9月30日に九頭竜川水系日野川でアザラシが確認されて以降中止していた工事について、専門家のご意見を踏まえて再開することとしました。

取扱い

同時配布

福井県政記者クラブ

〈問い合わせ先〉

近畿地方整備局福井河川国道事務所

電話：0776-35-2661（代表）

副所長 永野 純一（内線202）

工務第一課長 久野 啓嗣（内線311）

アザラシ発見箇所周辺での今後の工事施工について

平成23年10月3日14時

1. 現在までのアザラシ確認の経緯

当事務所が発注した工事の施工現場で9月30日午前8時30分に工事作業員がアザラシを発見し、松島水族館の職員により「アゴヒゲアザラシ」と同定されました。

10月1日の朝には同じ工事現場にいるのが確認されましたが、11時頃水中に潜り姿が見えなくなりました。

10月2日は正午前に、前日と同じ箇所を確認されましたが、13時頃水中に潜り姿が見えなくなりました。

10月3日は朝8時前に同じ工事現場にいるのが確認されましたが、9時頃水中に潜り姿が見えなくなりました。正午現在、工事現場では確認されていません。

2. 発見以後の対応

アザラシが発見された箇所では、河川内に堆積した土砂の掘削工事を実施しており、同じ箇所の対岸では根固ブロックを設置するためクレーンを搭載した台船による作業を実施していました。

通報を受け、9月30日から現場周辺での工事施工をすべて中止し、土日は一般の見物客が増えることを予想して、危険防止のため工事現場周辺での安全監視に当たっていました。

3. 海棲哺乳類の専門家のご意見

海棲哺乳類の専門家である越前松島水族館の鈴木館長と松原氏に意見を伺った。その結果は以下のとおり。

○アザラシについて

- ・ このアザラシはベーリング海のようなもっと寒冷な地域に生息している動物である。
- ・ 今回発見された箇所では本来生息すべき動物ではなく、塩分の無い真水の水域に長くいると目の角膜がやられてしまう。
- ・ このまま居続けると高水温・高気温となりアザラシにとって過酷な条件となるので、アザラシに配慮して現場に居着かせることは、かえってよくない行為になる。
- ・ アザラシの事を考えると早く河口から海に戻すべきだと考える。

○工事再開の影響について

- ・ 水中では俊敏であり、低速で移動する船に衝突するような動物ではない。
- ・ 陸上にいる場合もすぐに水中に移動できる水際にしか上陸しない。

- ・ 危険が迫った場合はすぐに水中に避難する。
- ・ したがって、上陸箇所周辺で工事を行っても問題ない。

4. 今後の対応

上記の専門家の意見をふまえ、9月30日から中止していた発見現場周辺の工事について、以下のとおり再開いたします。

- ① 今後の出水の可能性も考慮し、アザラシが上陸していた箇所からやや上流の河川内に係留中の作業用台船を10月4日（火）午前より撤去します。
- ② アザラシが上陸していた箇所周辺で施工中であった土砂の掘削工事については、アザラシの動向に注意しながら10月4日（火）以降に再開します。

以上